

リニューアルされた庚申山コース。ファミリーでも気軽に利用できる距離がその魅力だ。1:7,500の地図を手にも仲間や家族を誘って、出かけよう。

庚申山総合公園コース

群馬県 No.121 JOA 公認 No.607
? km 10 ポスト

こここのところ、リニューアルが盛んに行われている群馬県下のパーマナントコースですが、今回はそのコースの1つ「庚申山総合公園」コースを紹介しします。

群馬県南部、埼玉県境の藤岡市に設置されている当コース。以前は「庚申山三名湖」と称し、スタート地点の庚申山総合公園と釣りのメッカである三名湖を結ぶ全長12kmにも及ぶ本格コースとして親しまれてきました。この度、三名湖を含む南半分のエリアがカットされ、総合公園周辺の丘を細かく巡るファミリーコースに生まれ変わり、距離も以前の半分程度になっています。

スタート地点は以前と同じ庚申山総合公園管理事務所前です。上信越自動車道藤岡インターから10分ほどで到着します。コース図入りの地図もここで入手できます。狭いエリアを巡ることに合わせて1:7,500という大縮尺のため、普段の感覚で歩いて行くについつい行き過ぎてしまいます。近くに立つ案内板の前では親子連れのオリエンティアが地図を持ってスタートしようとしているところでした。以前はマスターマップを写すのに順番待ちをしたことなどもありましたが、今はこうして他の利用者に出会うことはめったに無くなっていましたので、嬉しい思いでした。

2人に遅れてスタート。第1ポストは体育館の西から遊歩道の階段を登って行きます。開けた林の中に建つトイレの横で早速ポスト発見。設置されたばかりでピカピカです。

第2ポストは旧コースの第1ポスト。かつては登ってきた道路を今回はのんびりと下っていきます。



ほぼ下り切ったあたりで左手の小道に入ると「神明宮」に到着。境内にポストがありますが、ここは以前の小型ポストをそのまま流用していました。ただ、綺麗に再塗装され、新設ポストと何の遜色もありません。

国道254号バイパスの歩道を歩き、トンネルの前で左折。「みかばみらい館」を目指して急な坂道を登って行きます。舗装道路の南側に小道があり、その途中で第3ポストが設置されています。

OLらしからぬ施設の間を抜け、広場の北側を回り込みます。更に西に続く遊歩道は快適そのもの。理想的なハイキング気分を味わいながら尾根筋を進むと、道端で第4ポストを発見。

第5ポストへは一旦山を下ります。ひょうたん池への道標に従って小径に入り、スタート地点のすぐ西側まで戻ってきます。池の下に児童公園があり、その一角に堂々と立つポストは容易に発見できます。

そしてまた登り。体育館の東側、三二動物園近くから再度小道を極めて行きます。ここは旧コースの第2ポスト。藤棚の北端にあるトイレの横にこれまた小型のポストがそのまま使われていました。12年前に訪れた際は生垣で覆われていたトイレですが、今は何故かその生垣の半分が撤去されています。

民家の脇から小道に入り、登り気味に進みます。分岐の手前が第7ポスト。この先に続く遊歩道は南側が伐採のために視界が開け、開放感一杯です。

第8ポストは分岐から更に遊歩道を下っていく途中、かなり手前から遠くにあるのが目に入ります。たぬき池と称された湿地の前がポスト位置です。

第9ポストは冬の時期でも汗の流れる長い石段を上り詰めます。ここはかつての最終ポストで、この石段はゴールに向かって軽快に下ってきたところです。全311段の石段は男坂と名付けられ、その両脇には庚申塔が立ち並んでいます。上り詰めたところが標高189.4mの庚申山山頂です。広場が整備され、以前とは様相が一変していました。展望台もあり、一休みするには好適です。

椎茸床の横を抜け、尾根の心地良い歩道を進むと、最終ポストは自然と目に飛び込んできます。第5ポストへ向かう際に通った小径を再び下ると、公園の事務所はすぐそばです。

初めてオリエンテーリングに挑戦するのがこのような気持ちのよいコースなら、次々と挑戦したくなるに違いありません。かつての三名湖コースを歩かれた方も含め、広く利用されて欲しいコースです。(2003年2月2日踏破)